

# さんぽく

## 特集 まちづくりの新しい風



今回は山北地区で活躍する人材を特集！

最初は「地域おこし協力隊」。まちづくり協議会と同様に地域の課題解決や地域振興のための取り組みを日々進めています。

続いて「集落支援員」。地域の課題解決に向け「買い物支援」とおして、まちづくり協議会と連携して取り組みを進めています。

巻末では、地域の皆さんと寄り添い、日々の健康や暮らしの面まで支える保健師、栄養士さんを紹介します。

地域の暮らしを支えたり、より暮らしやすくしたりする皆さんの活動。まちづくり協議会でも皆さんの様々な活動の支援を共に行います。

2021  
9.15



# さんぽく健やか通信



～保健師・栄養士からのお知らせ～

山北地区の皆さんこんにちは。私たちは山北支所の保健師・栄養士です。日ごろ健康診断やがん検診、乳幼児健診や家庭訪問等で皆さんの健康づくりのお手伝いをさせていただいています。今後、まちづくり通信の紙面をお借りして、健康に役立つ情報をお伝えしたいと思います。

今回は、高齢者の総合相談を担当する地域包括支援センター職員とともに私たちの自己紹介をさせていただきます。

★ 菅原保健師  
(地域包括支援センター兼務)

《担当地区》  
黒川俣地区・八幡地区

年長にはなりましたが、皆さんお気軽に相談ください。

★ 大滝保健師

《担当地区》  
下海府地区・中俣地区

4月に異動してきました。保健師4年目です。頑張ります！よろしくお願ひします。

★ 谷井社会福祉士  
地域包括支援センター

《担当地区》  
下海府地区・中俣地区  
大川谷地区

認知症介護のことや介護予防教室のこと等相談ください。

★ 中嶋栄養士

《担当地区》  
全地区・栄養指導全般

山北に来て4年目になりました。食生活改善推進員さんと共に頑張ります。

★ 田嶋保健師

《担当地区》  
大川谷地区

訪問時に見る青い海や緑の山々に癒やされています。今年もチームワーク良く、頑張ります。

地域の茶の間や買い物の支援など、まちづくり協議会と連携し、皆さんの健康づくりなどの

お手伝いをしています。お気軽にご相談ください。

連絡先：山北支所地域振興課地域福祉室

電話：77-3113(直通)

### 【編集・発行】

山北地区まちづくり協議会  
＜事務局＞

〒959-3993 新潟県村上市府屋232番地（村上市山北支所内）

電話：0254-77-3111 FAX：0254-77-2217

メール：s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



まち協HP



まち協Facebook



# もうひとつの風

## 集落支援員

高齢化社会における買い物困難への対策を検証しながら地域に必要とされる取り組みへ

### 集落支援員

#### 《活動概要》

今後必要とされる買い物に対する支援策を検討しながら地域での取り組みを目指す

《名前》 板垣 美枝子 (いたがき みえこ)

《活動拠点》 山北支所地域振興課自治振興室内

※現在は仮の活動場所です。今後の活動状況により変更する場合があります

《連絡先》 0254-77-3111



社会福祉協議会、商工会、ご近所ささえぐる隊、さんぽくスポーツ協会、まちづくり協議会などと連携し、力を併せながら地域の皆さんにとって必要とされる取り組みを目指します。よろしくお願ひします。



①健康づくりの「おうち体操」体験



②スーパーで買い物中の談笑

### これまでの取り組みと今後の活動予定

#### ・「おでかけさんぽぽ」の開催支援

8月に黒川俣地区を対象とした「おでかけさんぽぽ（買い物ツアー）」を開催。買い物と健康づくりを組み合わせたツアーを実施。

#### ・「おでかけさんぽぽ」の継続開催支援

買い物プラスアルファで「つながる」場所としての役割と皆さんが参加しやすい内容での開催を継続し、参加者等の意見を踏まえ今後の方向性を検証。

#### ・〇〇マルシェの開設支援

ゆり花会館は地区内外から人々が集う場所となっています。そこで実験的に地域商品などを小スペースで販売し、地域のPRと買い物で選ぶ楽しさ、そして小さな地域経済の循環で地域が潤う取り組みを目指します。など

## 集落支援員とは？

地域の皆さんが問題を自らの問題ととらえ、市町村がこれに十分な目配りをしたうえで施策実施していく方策として集落支援員制度があります。地域おこし協力隊とは異なり任期が定められていないこと、地域の実情を知る人の採用を念頭に置いているため、地域要件が定められていないことが特徴です。

活動内容は市町村職員と連携し「目配り」として状況の把握、点検の実施、支援に関する活動とされており、地域の実情に合わせた活動を実施することができます。

山北地区では高齢化による買い物困難に焦点をあて、村上市、まちづくり協議会、商工会などと協力、連携しながら一歩ずつ活動を進めることとしています。

# 地域おこし協力隊活動中

## 地域おこし協力隊「笹川流れ」

笹川流れを中心に「食」を基本に地域の皆さんが主体となる事業を展開し地域に活力を！

### 地域おこし協力隊「笹川流れ」隊員

#### 《活動概要》

笹川流れエリアにおいて「食」を活かしたビジネスモデルの構築を目指す

《名前》 高杉 惇 (たかすぎ じゅん)

《出身》 新潟市

《活動拠点》 桑川生活改善センター内

《連絡先》 0254-62-7181



①魅力ある山北の「食」を体感中

### これからの活動予定

#### ・フードトラック事業

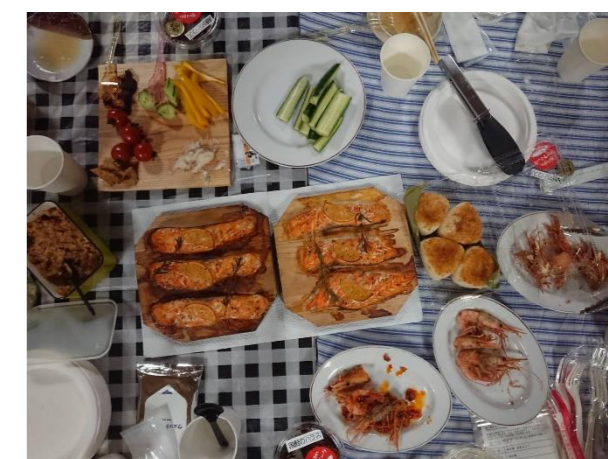
キッチンカーを利用し、地元食材を使用した料理の提供と「食のブランド育成」を目的とした勉強会の実施。

#### ・ジェラート販売

弁天岩駐車場において、村上市産ジェラートのお試し販売による市場調査。

#### ・軽トラ市

SDGsを目的に山北の小中学生とコラボし、古着雑貨の再利用から、今後「食」のPR、販売の活動に繋げる。など



②持ち寄りの食材で地域の「食」を知る活動。ポットラック。



③お手伝いの小学生と一緒に軽トラ市で古着等のフリーマーケット。

### ～地域の皆さんへ～

現在山北の「食」のフルアルバムを体感中です。

山北の魅力ある「食」を発信、活用し地域に還元出来るよう取組み、地域の皆さんと一緒に活動できたら嬉しいです。

桑川生活改善センター内を活動拠点としているので、「こんな美味しいものもあるよ!」、「一緒に〇〇やってみない?」と気軽にお声掛け下さい。一緒に地域を盛り上げていきましょう。